

地域資源「若桃」の新商品開発支援

あぶくま食品株式会社

1. 摘果桃はほとんど活用されていない
2. 福島県は全国2位の桃産地、数量は十分
3. 市場コントロールしていいのか
4. 自社だけで商品化できるのか
5. 自社商品を守る理論武装ができるのか

桃の摘果作業風景



鈴木アドバイザーによる支援

- 《特許権取得に向けた支援》
商品部を立ち上げ、下記支援を実施
- ・知的財産権活用の重要性を説明
 - ・開発効率化、特許化に向けた特許情報活用支援
 - ・特許庁支援制度の紹介
 - ・企業主導による出願戦略策定支援

地元果樹農家との連携
地域資源「桃」の活用
地域産業6次化への取組※

福島県中小企業団体中央会
(財)福島県産業振興センター
助成制度の活用支援

福島県ハイテクプラザ、
福島大学、福島県立医科大学との
技術相談、産学官連携

特許情報活用等の成果

- ・特許情報の活用力が向上した
- ・他社技術動向を踏まえ自社特許戦略を構築
- ・国内特許出願2件、国際特許出願1件
→特許第4421679号 他

平成20年度
地域資源活用促進法に基づく認定
ふくしま産業応援ファンド事業助成金
食品産業競争力強化対策事業関係補助金

福島大学、福島県立医科大学と
共同・受託開発契約
研究開発がスタート

受賞

平成21年度
優良ふるさと食品中央コンクール「農林水産省総合食料局長賞（新技術開発部門）」受賞

支援によって開発・販売された商品



「若桃の甘露煮」



「若桃」大福

商品名「若桃の甘露煮」

独自の製法（特許取得済）により種子まで丸ごと食べることができ、果肉や種子部を均一な食感に仕上げました。着色料や保存料は一切使用しておりません。ISO9001の品質管理体制による安心安全な商品をお届けいたします。

支援先企業の概要

- 企業名 あぶくま食品株式会社
- 代表者 鈴木 正英 ■所在地 福島県伊達市保原町
- 創業 1972年 ■資本金 4,800万円
- ホームページ <http://www.abukumafoods.co.jp>

鈴木 優（福島県知的所有権センター） 特許情報活用支援アドバイザーの一言

事業効果が期待できる特許についてご相談があり、支援を開始しました。初めての取り組みだったため、自社技術優位性と特許戦略をじっくり検討していただきました。

特許を取得したことで地域資源「桃」を活かした事業強化が可能となり、地元果樹農家との連携による地域産業6次化にも貢献できたとのことです。

また、あぶくま食品株式会社では産学連携にも積極的であり、高度な研究開発に基づく高付加価値商品の展開も期待されます。

※地域産業6次化：農林水産業などの第一次産業が食品加工・流通販売にも業務展開するなどの経営の多角化を6次産業化と呼ぶ。



平成22年8月現在